

主催校からのご挨拶

本年度の全国大会は、2017年10月28日（土）、29日（日）、明治大学駿河台校舎（東京都千代田区）において、「第四次産業革命と国際ビジネス」を統一論題にして開催いたします。ご多用とは存じますが、奮ってご参加ください。

近年、技術の発達ビジネスの世界を変革しつつあることは周知の通りです。インターネットの発達などでビッグデータが集まり、センサー技術と通信技術の発達でIoT（Internet of Things）が可能となり、コンピュータのハード・ソフトの発達がAI（人工知能）を産み出し、ビジネスのみならず社会全体の変革が進んでいます。ブロックチェーン（ビットコイン）のような擬似通貨も次第に各国に浸透しつつあり、人類と技術・機械の関係の転換点となるテクノロジカル・シンギュラリティ（技術的特異点）がいつ・どのようになるのかが注目を集めています。このような第四次産業革命は当然国際ビジネスにも大きな影響を及ぼすので、この問題に取り組むことは国際ビジネス研究学会の責務であると言えるでしょう。

第四次産業革命の影響は、国際ビジネスの進化・深化をもたらしたり、国際ビジネスのさまざまな境界を曖昧化・希薄化したり、まったく新しい国際ビジネスを産み出したりするなど、多岐にわたると考えられます。会員各氏その他の知見を持ち寄り、この問題に真正面から対峙できれば幸いです。

初日は統一論題についての造詣が深い研究者・実務家の報告とパネルディスカッションを企画しており、二日目は自由論題報告ならびに国際交流フォーラムを予定しております。

明治大学駿河台校舎は東京の中央部に位置し、交通の便が大変良いところにあります。ご多忙とは存じますが、多数参集いただければ幸いです。

実行委員長 大石芳裕（明治大学）

実行委員：原田将（明治大学）、井上真里（日本大学）、
唐沢龍也（関東学院大学）、古川裕康（淑徳大学）